

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		せんぞくデイホーム				所管	福祉部 高齢福祉課					
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度						
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 平成 2 3 年度			
		[小 柱]										[終了予定] - 年度
		[施 策]										
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区立高齢者在宅サービスセンター条例、東京都台東区立高齢者在宅サービスセンター条例施行規則								
	事業対象	要支援・要介護の認定を受けた高齢者等										
	事業目的	支援や介護を要する高齢者に対し、通所介護等の各種在宅サービスを提供し、在宅生活を支援するとともに家族等の介護負担を軽減する。										
	事業内容	通所介護：要介護1以上の高齢者を対象とし、入浴、食事の提供その他日常生活上の世話と機能訓練をすることで、心身機能の維持回復を行うとともに、社会的孤立感の解消等を図る。										
委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容	せんぞくデイホームの管理運営									
補助金の有無	なし											
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度					
	活動指標	利用者総数	(人)	2,100	1,503	2,025	1,987					
		成果指標	利用率	(%)	55.0	40.0	54.4	53.2				
	決算額 (単位：千円)					6,000	11,059	11,059				
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)				6,000	833	852				
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				900	11,059	11,059				
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0				
		総経費				6,900	11,892	11,911				
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0				
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0				
一般財源(区負担額)				6,900	11,892	11,911						
前年度から改善した事項	サービス内容の普及啓発に努め、利用率の改善に取り組んでいるものの、前年度とほぼ同じ水準であった。引き続きサービス内容の普及啓発に努め、利用率の改善に取り組んでいく。											
評価の視点	評価	評価の理由										
	必要性	3	高齢者人口の増加に伴い、引き続き高いニーズが見込まれる。									
	効率性	3	サービスの向上に取り組み、高い利用率を維持できるよう努めていく必要がある。									
	手段の適切性	3	指定管理者制度に基づき、施設運営は適切に行われている。									
	目的達成度	3	事業目的はおおむね達成されており、引き続きサービスの向上に努めていく。									
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了					
高齢者人口が増加していく中、本事業の必要性は高い。引き続きサービスの向上に努めながら、同種の事業所との差別化を図り、高齢者の在宅生活の支援に取り組んでいく。						維持						